

# クイズ研究同好会

現会長 飯村 言葉  
前会長 小森 至瑠  
顧問 吉田 先生

ポタンに手をかけ、耳を澄ます。刹那的な静寂を破るように問題が読まれるとき、私たちの一世一代の真剣勝負が始まる…。

三階多目的教室、通称「さんたも」の和気藹々とした雰囲気の中、私たちは日々クイズに勤しんでいる。ここで言うクイズには、単純に知識を積み重ねることだけでなく、相手との確定ポイントの読み合いや駆け引きからなる「解答権なき者は沈黙せよ。」と言わんばかりのシビアさや、自分の持てるものを総動員し、あらゆる「問」に応じて柔軟に振る舞う必要性も含まれているのだ。断片的な記憶が頭の中で線として繋がり、啓示めいたものを与えてくれる瞬間こそ、得も言われぬ歓びを味わうことができるのではないかと思う。

「天上で最も美しい星をとろうとしているかと思えば、地上の最も深い愉しみをも極めようとする」ことがクイズだろう。欲張りで、贅沢で、決して終わりが無い。私たちを惹きつけてならないクイズの魅力。それを伝え、ここまで導いて下さった小森前会長をはじめとする飽くなき知的好奇心を抱く先輩方へ、無尽蔵の感謝とこれからのさらなるご活躍を祈って、結びとさせていただきます。

